

トライボロジー会議 2005 秋 東京(代々木) 開催報告

実行委員会委員長 保田芳輝

「トライボロジー会議 2005 秋 東京」を平成 17 年 11 月 16 日(水)～18 日(金)の 3 日間にわたって代々木国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて開催いたしました。秋のトライボロジー会議は東京以外での開催が通例ですが、春に 50 周年行事「ITC 神戸 2005」が神戸市にて開催されたため今回は秋の会議ながら東京での開催となりました。会議における研究発表件数は約 250 件で、参加者は 650 名を超え、大変盛況な大会となりました。以下に本会議の内容を報告いたします。

研究発表会:

今回はシンポジウムセッションとして、「生物における水和潤滑」、「塑性加工のトライボロジー」、「転がり接触と疲れ」の 3 件が取り上げられ、朝から夕刻まで熱気を帯びた発表および討論がなされました。技術賞受賞講演を含む一般講演は 19 項目 51 セッションで行われ、セッション当たりの参加者数は 50 名を超えていました。

イブニングフォーラム:

初日の夜に、「トライボロジーよもやま話」と題して、日本トライボロジー学会の創立 50 周年を記念して、学会の発展に貢献されてきた現学会長をはじめとする実力者の方よりこれまでの「出会い」や「成功と失敗」について話題を提供頂きました。学術的に偏らず、今後の学会活動、研究開発のあり方や期待することを自由に意見交換できる場を提供しようと企画したものでした。会場からは熱心な質疑・意見があり、特に若手研究者との意見交換が活発に行われ、参加者は 100 名を超える活況ぶりでした。

特別講演会:

会議 2 日目の午後に、第 49 期トライボロジー学会論文賞の佐藤祐樹氏「オイルシールしゅう動面の油膜形成と摩擦特性に関する研究」と張賀東氏「化学的テクスチャ付き表面における単分子層潤滑膜の表面流動特性」の受賞講演が行われました。さらに特別講演では、株式会社アシックス、スポーツ工学研究所の西脇剛史氏に 45 分の講演をいただきました。今回のトライボロジー会議の開催場所であるオリンピック記念青少年総合センターは、東京オリンピック(1964 年)選手村の跡地の一部に建設されたものであり、それにちなんで、近年の夏季オリンピックでの日本女子マラソン選手のめざましい活躍を支えてきたスポーツシューズの供給元であるアシックスの西脇氏に「スポーツシューズにおける機能向上を目指して」というテーマで、現在のスポーツシューズが抱える様々な課題とそれらを如何に克服してきたかについて、映像を交えわかりやすく解説いただきました。

懇親会:

会議 2 日目の夕刻から国際交流棟レセプションホールにおいて開催された懇親会には、名誉会員、各章受賞者等を含む約 150 名の方々が参加し、和やかな懇談を通じての活発な情報交換が行われました。兼田会長から 2009 年京都での WTC(World Tribology Congress)の開催が決定したことが紹介され、会長から木村好次先生に 2009 WTC Kyoto 実行委員長の委嘱状が手渡され、木村先生からは 2009 年に向けた期待と抱負のご挨拶をいただきました。続いて加藤孝久実行委員長によるトライボロジー会議 2006 春東京の紹介と内山吉隆実行委員長による Asia Trib

2006 の PR が行われました。

企業技術・製品 PR コーナー：

会議期間中、企業の PR 活動の一環として機器展示とカタログ展示コーナーを設けました。多くの企業からの出展申し込みを頂き、出展企業数は機器展示 26 社、カタログ展示 5 社と合計 31 社で展示会場はほぼ満杯の状態となりました。展示ブースの配置、展示方法、パソコン他の器材導入など出展企業のご要望に応えられるように工夫を凝らしました。また隣接したビデオコーナーでは各企業の PR ビデオを放映し、わかりやすい説明で来場者の興味を引いていました。休憩コーナーを併設したことで PR コーナーに多くの方が足を運びやすくなったと思っております。

運営：

東京でのトライボロジー会議としては、初めての会場となる国立オリンピック記念青少年総合センターで開催いたしました。会員の皆様他のご協力で運営上の大きなトラブルもなく無事に終了することが出来ました。次回春の会議に向けての反省事項は多々ありますが、全講演会場に電子プロジェクターが配備され、広々とした講演会場や懇親会場は使いやすく、満足の行くものであったと考えております。また IT 利用も定着し、各種会告、講演申し込み、参加申し込みなど、多くの方が学会ホームページを活用いただけるようになってきました。

最後に、参加者の方々、講師、座長、協賛団体各位、予稿集広告や PR コーナーにご出展頂きました各社および法人各位のご協力に深く御礼申し上げます。また本会議の企画段階から終了までの 1 年半にわたり、様々な業務をご担当、ご尽力いただきました実行委員の方々、ホームページ掲載にご協力いただいたの方々、運営委員会や学会事務局の方々に感謝申し上げます。



研究発表



シンポジウム



イブニングフォーラム



論文賞受賞講演1



企業技術・製品 PR コーナー



論文賞受賞講演2



懇親会1



西脇氏による特別講演



懇親会2